
**福崎町第5次行政改革大綱(案)
及び実施計画(案)に対する
意見書(報告)**

平成28年10月7日

福崎町行政改革懇話会

福崎町第5次行政改革大綱(案)及び 実施計画(案)に対する意見書(報告)

今日、私たちの住む社会は大きく変わろうとしています。国内外で長引く不透明な経済情勢及び少子高齢化やグローバル化が急速に進展するなかで、私たち自身の価値観もますます多様化しつつあります。こうした変化に柔軟に対応し、次世代につながる個性豊かで活力ある住みよいまちづくりを進めることが強く求められています。

このような時代の要請に応えるために、さらなる住民サービスの向上に努め、限られた資源（ヒト・モノ・カネ）を効率的・効果的に活用していくことが必要です。そこで、福崎町第4次行政改革大綱を継承しつつ、現状に見合った改訂を行うとともに、その具体的な改革の内容を明らかにする実施計画を策定し、取り組んでいくことが、このまちをさらに住みやすくする最善の方策と考えています。

福崎町第4次行政改革の推進期間が平成26年度末で終了したこと受け、平成27年10月に福崎町行政改革懇話会が設置されました。平成28年度から平成32年度までを計画期間とする福崎町第5次行政改革大綱及び実施計画の策定にあたり、計画の妥当性、的確性等について検討を行いました。これまでに3回の会議を重ね、限られた時間の中で活発に議論を尽くし、その意見を成果として整理しました。

私たちのまち福崎町が、魅力にあふれ未来に誇れるまちへと大きく発展していくことをこころより期待し、意見書として報告します。

平成28年10月7日

福崎町長 橋本省三様

福崎町行政改革懇話会
会長 後藤幸男

◆ 検討にあたっての委員からの主要な意見

【意見】

No.	区 分	内 容
(1)	全体	事業の裏付けは財源であり、私達がどんな良い意見を出したところで、財源が伴わなければ実りあるものにはならない。
(2)	全体	事業全てを棚卸しするとコストカットの余裕が出てくるのではないか。私どもも毎年見直しをしているが、毎年コストを削減する余裕が出てくる。例えば20%あるものを10%以内で抑えると決めてかかれば、必ずカットできるので、是非参考にさせていただきたい。
(3)	全体	取組計画が「検討」となっている部分は、どこかで実施しなければならない。どんな難しい問題でも3年くらいで結論は出るので、全体的に見直していただきたい。
(4)	全体	「限りある経営資源」としては、町職員だけでなく、地域力、地域の人間力など幅広く捉える必要がある。自律（立）のまちづくりによるそれらの力を、有効に使っていくことを検討していただきたい。
(5)	全体	行政改革は予算をカットするのみならず、伸ばすべきものは伸ばす、役割を終えたものをどう見直すのか、などが重要である。一方で住民サービスの低下をまねかないようにすべきである。
(6)	全体	予算や職員数の削減を言う時代ではない。高齢化などに伴い業務量がかなり増えている。全体に関して、カット中心ではなく、事務の洗い出しのようなイメージで、いかに効率的で効果的な行政運営ができるかを考慮しながら進めていただきたい。
(7)	全体	実施計画の進捗状況は毎年見直すわけで、可能なものは数字にあげて、未達成のものについてはその理由を明らかにすることこそが大切である。これが成功するかどうかは職員の意識改革にかかっている。
(8)	全体	行政改革は、PDCAサイクル、つまり自己点検が重要である。作った人がチェックするのではなく、特に数値に表せることができない項目をどのようにチェックするのかが大切である。良いものを作ろうとすると、常に振り返りが必要である。
(9)	電子自治体の推進	電子自治体の推進については、高齢者が多い地域だと、なんでもインターネットを利用するといった方策を進めてしまうと弊害が生じることもあるため、住民の年齢構成、環境などを考慮しながら検討を加えていく必要がある。
(10)	組織機構の活性化と人材育成の充実	「人材育成の推進」については、専門性も大事だが、一方で人間性も大事である。どうすれば町民の方に喜んでもらえるのかを若手職員に考えさせ、それが勉強につながる。目で見えて変化が起きるようなものをプロジェクトとして推進してはどうか。

(11)	組織機構の活性化と人材育成の充実	「人事評価の活用」についても、評価基準の明示や開示も重要であるが、その前に評価基準が確立されているか、例えば、「どれだけ頑張ればどれだけ給与が上がる、どんな地位に就ける」というような仕組みになっているのかなどの基準が確立されていないならば改革はできない。
(12)	組織機構の活性化と人材育成の充実	人事評価では、あまり能力主義に走らない方が良い。業務遂行には人との繋がりが大切である。極端な評価推進は、足を引っ張る人が出てくるなど弊害も出る恐れがある。
(13)	定員管理	職員の削減については住民サービスの低下も招く恐れもある。
(14)	自主財源	自主財源をどうやって確保していくのかということを行政改革の中で検討していく必要がある。
(15)	その他	老人福祉事業などは民間が既に行っているケースが多いため、これらは行政として縮小し、逆に事業を行っていない障害者福祉事業へ方向を向けるなど、メリハリのある行政改革をお願いしたい。

I 福崎町行政改革懇話会委員名簿

(平成28年8月31日現在)

No.	構成	氏名	備考
1	町議会議員(総務文教常任委員会代表)	志水正幸	
2	町議会議員(民生まちづくり常任委員会代表)	宮内富夫	
3	商工会代表	後藤幸男	会長
4	民生委員児童委員協議会代表	三木良子	
5	区長会代表 区長会代表	大井正英 ※松岡政行	会長代理 会長代理
6	教育委員会代表	石川治	
7	神戸医療福祉大学代表	長瀬修子	
8	福崎工業団地協議会代表	宮内康伴	
9	都市計画審議会代表	鎌谷和将	
10	一般公募	森井強	
11	農業委員会代表	※中井肇	

※は交替等のあった当初委員

II 福崎町行政改革懇話会 開催状況

回	日 時	基本事項	内 容
第1回	平成 27 年 10 月 16 日 (火) 10:00～	懇話会進め方 説明及び質疑	<ul style="list-style-type: none"> ・会長・会長代理選任及び各委員紹介 ・第4次行政改革進捗状況について ・第5次行政改革策定方針について など
第2回	平成 28 年 5 月 30 日 (月) 9:30～	第5次行政改革 実施計画(案) 説明及び協議	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次行政改革実施計画(案)説明 <ol style="list-style-type: none"> 1. 参画・協働と透明性の向上 2. 効率的で効果的な行政運営 3. 効率的で柔軟な行政組織の構築 4. 自立した財政構造の構築
第3回	平成 28 年 8 月 31 日 (水) 13:30～	第5次行政改革 大綱(案) 説明及び協議	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回行政改革懇話会意見(対応方針) ・「福崎町第5次行政改革大綱(案)及び実施計画(案)」意見募集に対する対応方針 ・第5次行政改革大綱(案)説明
—	平成 28 年 10 月 7 日 (金) 9:30～	意見書(報告) 提出	<ul style="list-style-type: none"> ・「福崎町第5次行政改革大綱(案)及び実施計画(案)」に対する意見書(報告)の提出